

【事務局】

一般社団法人 熊本県社会福祉士会

熊本市東区健軍本町1-22 東部ハイツ105

Tel 096-285-7761

Fax 096-285-7762

E-mail kumacsw@lime.plala.or.jp

URL http://kumacsw.com/

発行責任者 深谷 誠了

編集責任者 田上 緒

発行日 2021年7月



一般社団法人 熊本県社会福祉士会ニュース

CSWくまもと
Certified Social Worker

特集:コロナ禍での活動紹介

第
71
号

2021年度定時社員総会報告

2021年6月27日(日)
13時30分よりメルパルク熊本2F有明にて熊本県社会福祉士会定時社員総会が開催されました。新型コロナウイルス感染防止のため、会場参加者とZoomにて視聴のハイブリット方式で執り行われました。

会員総数832名中、会場出席39名、委任状提出390名、計429名で過半数の416名を上回り、総会成立の報告がありました。

第1号議案では深谷会長より活動総括があり、2020年度は新型コロナウイルスという経験したことがない急激な感染拡大より、社会の状況は変化し日常が大きく変わるだけでなく、未来への大きな不安が今も続いています。社会福祉士の活動は対人援助技術であり、相手と相互の関係の中で続けてきたものでしたが、新型コロナウイルス感染拡大を防止するためには、人との接触の機会を減らすことが重要とされており、人と接することが日常の私たちには非常に難しい状況が続きました。

そのような中、新たな委託事業として「熊本県ハンセン病問題・相談センターりんどう」を開設し、相談支援事業及び啓発事業など大きな成果を残すことができました。また、令和2年7月豪雨という甚大な被害に見舞われ早急な対応が求められる中



深谷会長による活動総括

に災害対策本部・災害時支援委員会が中心となり、日本社会福祉士会との連携の中で支援活動を行うことができました。また、会の活動もオンライン会議システム等の構築に取り組み、人と人との接触機会を減らすだけでなく、遠距離の会員の会議参加において効果を残すことができました。「これからも地域社会の生活課題に取り組みましょう」と、総括されました。

塘林事務局長からの事業報告では、社会福祉士として、地域社会と熊本県民への貢献活動の為に体制の更なる整備を図ったことや、「熊本県ハンセン病問題・相談センターりんどう」新規開設したことを報告されました。

公益目的事業報告では、一般社団法人移行に伴い、行うべき公益事業として次の事業を実施しました。①社会福祉セミナーを2021年2月6日オンラインのみで開催、②社会福祉よろず相談の実施(ひとり親支援相談件数9件)。社会福祉士学会は新型コロナウイルス感染拡大のた

め緊急事態宣言中で中止。

続いて各委員長、ブロック長等の活動報告がありました。

第2号議案では塘林事務局長より2020年度の収支決算報告がありました。

質問では…

- ・コロナ禍の中でZoom等オンラインの研修や会議が多くなる中、対面することがなくなることに逆に関心があり、活動のあり方についての県社会福祉士会の指針を明確にしてほしい。
 - ・ブロック活動の予算…ブロック活動の回数や予算の上限が設定されていると言われたことがあった。遠隔地で講師を呼ぼうとしても交通費等多くかかる。コロナ禍の中で今年ではできなかったが、次年度上乗せしてできないのか。
 - ・会費を滞納している方への対応の確認
 - ・委託事業の在り方検討
 - ・災害支援時の補助金の収支を明確にして欲しい。
 - ・相談援助成年後見収入(くまジョブ、私学SSW、ばああとなど)が増えている詳細を教えてください。
- など、活発な質疑応答がありましたが、いずれも可決承認されました。

2021年度 社会福祉セミナーに参加して

○第1部社会福祉セミナー基調講演「子ども家庭福祉に関する新たな資格制度の現状と課題」



基調講演中の池田 真紀氏

総会に引き続き、15時から講師に池田 真紀氏（社会福祉士、衆議院議員）を迎えて行われました。

冒頭では、国の動向とし「子ども庁」開設の動き等の新聞記事等から政策動向の話から始まりました。児童虐待防止法改正など子どもの政策は政治によって変えられてきたが、その中でも“権利擁護の視点”の必要性を訴えられました。また、「子ども家庭福祉の資格について」をめぐっては、既存のソーシャルワークに関する資格（社会福祉士、精神保健福祉士）を基礎として、子ども家庭福祉分野に関する上乘せにするのか等の議論が話されました。

生活保護のケースワーカーでの経験で子どもの貧困を目の当たりにし、支援する側とされる側の関係性の中での行政での支援の限界ともどかしさを感じていたことを話されました。

何度も「べてるの家の当事者研究」の話が登場し、「チルドレンファーストを本気で目指さないといけない」「一番大事な当事者が忘れられる」等の熱いメッセージから改めて当事者の立場に立った当事者中心の支援

について考えさせられました。

家庭ということばを何気なく使ってしまう、家庭がない子ども（当事者）からは聞きたくない痛い言葉ではないか等の傷つけない配慮の必要性等も訴えられました。2020年12月生殖補助医療法案成立等の今回初めて聞く内容もあり、これまでは、施行された法律についてばかりに着目していましたが、法案成立過程やその変遷を知ることの大切さを感じました。

専門性をもった関わりも重要だが、求められているのは人間的な関わりだったりする等の言葉からは、専門職のこれからのあり方や当事者との関係性の築き方を示唆されたようにも感じました。

現場と制度のギャップを熱く語りながら、制度を変えようとソーシャルアクションしているその姿に感銘を受けました。メッセージ性のある言葉が続き、これまでの経験と衆議院議員という立場に基づく話から実践に裏付けられた言葉は、躍動的かつ重みがあり、終始引き込まれるような、1時間があっという間に感じる基調講演でした。

○第2部トークディスカッション（球磨村支援活動の記録発刊記念）

「災害支援のカタチ ～タテからヨコの関係～」



トークセッションの様子

登壇者は、基調講演の講師で

ある池田真紀氏、本会から西田剛理事、岡村ゆかり理事、コーディネーターは、深谷会長が務められました。まずは、イントロダクションとして西田理事より「令和2年7月豪雨球磨村支援活動の記録」と題し、令和2年8月24日～11月24日まで全14クール、稼働日数67日の活動報告がありました。

その後は、登壇者より「関わられた災害支援」「クライアントとの関係」「これからの支援のカタチ」についてそれぞれからコメントをされました。

西田理事からは、熊本地震の際に支援を受け入れた経験（福祉避難所等）から、支援に入る際に誰のため何のための支援なのか？を意識しながら活動したことを話されました。また、災害への備えとして「受援力」を高めておくことの重要性を話されました。

岡村理事からは、熊本地震の際に自身の避難経験や熊本学園大学での避難所運営の経験について話されました。熊本地震から5年経過し、時間の経過とともに共有することの難しさを感じていることを話されました。

池田氏からは、現地に負担をかけないこと、当事者から主体性を奪う支援をしない、また、地域の互助を分断しないよう意識しながら支援することの重要性を話されました。それは、災害時だけではなく日常の支援でも起こる得るため、支援する、支援される関係性だけでは支配するかもしれないという関係性を念頭に関わること話されました。極論として、支援を感じさせないよういかにするのか、ありがとうって言われない努力をしていくという言葉が印象に残りました。

子ども家庭支援委員会について

子ども家庭支援委員会 理事 坂本 眞奈美

2021年度より「子ども家庭支援委員会」が立ち上がり、担当理事になりました。私は現在スクールソーシャルワーカー（SSW）として仕事をしていますが、虐待や経済問題等非常に過酷な状況を生きている子どもと接することが多く、子ども達の権利を擁護することの大切さを日々感じています。しかし、子ども達だけに働きかけても状況改善・環境調整をすることは難しく、家庭に入り家族支援をすることが非常に重要になります。

熊本県社会福祉士会会員の中には児童福祉関係の仕事をしている方も多数いらっしゃいます。今回「子ども家庭支援委員会」ができることで、これらの皆さまと連携を取り合い、子どもと家庭の未来について一緒に考えていくことができるのではないかと考えています。今年度の活動は研修を中心に行いますが、これはHPに掲載し、一部を除き興味がある方はどなたでもご参加できるようにしております。また次年度に向けて色々なご意見を取り入れながら進めていきたいと思っております。一緒に委員会活動をやってみたい方も募集しております。委員会活動に興味がある方は是非事務局までご一報ください。これからよろしくお願いたします。

【子ども家庭支援委員会 2021年度研修計画】 詳しくはHPをご参照ください。

日時	曜日	方法	研修内容
5月15日	(土)	Zoom	権利擁護（未成年後見も含む）の考え方
6月12日	(土)	Zoom	「発達障害」の理解と関わり
7月10日	(土)	Zoom	いじめ問題とSSWの役割 ※SSWのみになります
8月21日	(土)	Zoom	ゲーム依存に苦しむ子どもたちの理解と対応（仮）
9月11日	(土)	検討中	学校の中でおこる性暴力の被害・加害への支援（仮）
10月16日	(土)	検討中	里親制度について（仮）
11月6日	(土)	検討中	家族を見立てる（総論）（仮）
12月	(土)	検討中	障がいを持つ人の就労及び福祉サービス（仮）
1月	(土)	検討中	家族を見立てる※SSWのみになります
2月	(土)	検討中	本人・家族の受容（仮）
3月	(土)	検討中	スクールソーシャルワーカーを知る（仮）

『令和2年7月豪雨 球磨村支援の記録』

災害時支援委員会 委員長 磯田 千絵

令和2年7月豪雨の支援活動では多くの会員の皆様のご協力を賜りありがとうございました。お陰様で約3ヶ月間、球磨村地域包括支援センター並びに球磨村地域支え合いセンターの支援活動を行うことができました。

今回は新型コロナウイルス感染症防止の為に、県内会員のみでの支援活動となりました。熊本県社会福祉士会としてどのような支援ができるのか、現地視察や情報交換を繰り返し球磨村への支援が始まりました。当初は球磨村地域包括支援センターの支援で、避難所や在宅の訪問、記録、報告などを主に包括職員業務のサポートを行いました。その後、仮設住居への入居が進む中で、地域支え合いセンターへの支援

依頼があり、職員への研修、同行訪問、会議運営の助言などの支援活動を行いました。

コロナ禍の活動で支援者間の情報共有が課題でしたが、活動前にWebオリエンテーションを開催し意思統一を行ったこと、移動拠点での日々の申し送りや、情報共有のための伝達ツール

（LINE WORKS）の活用、シフト管理などで、どうにか切れ目ない支援に繋がっていったように思います。何より活動者の皆さまが、会の支援方針を理解し、被災地主体の支援活動を行っていただいたことで最後まで支援活動が継続できたのではないかと思います。

今回、球磨村支援活動のまとめとして「令和2年7月豪雨 球

磨村支援活動の記録」を作成し、全国都道府県士会及び関係機関、支援登録者の皆さまに発送させていただきました。



被害状況、支援活動の内容、サポートチームの活動、アンケート結果等を掲載しております。ご興味のある方は事務局に保管してありますので是非ご一読ください。

※11月に災害支援活動者養成研修を開催します。詳細はInformationをご覧ください。

特集：コロナ禍での活動紹介

災害時支援委員会

昨年度の令和2年7月豪雨における球磨村支援活動ではコロナ禍の為、県内会員のみでの支援活動となり、Web、SNSを活用した情報共有や研修により意思統一を図りました。

今年度の活動は、球磨村支え合いセンターの支援を継続しながら「災害支援活動者養成研修」の内容充実、「発災時シミュレーション会議」「かたりば」等の活動を計画しています。ZoomやLINE WORKSを利用して、定例会や各担当の打ち合わせを行っています。

相談委員会

今年度から新たな試みとしてグループ編成を行っています。グループの構成は、当委員会への入会希望者を中心とした「地域生活支援班」と「ユース班」、受託事業などを中心とした「事業推進班」、委員会活動をサポートする「総務班」となっています。

各委員、各事業がそれぞれの役割や機能をより発揮できるよう取り組んで参ります。会員の皆様におかれましては、今後も変わらぬお引き立てのほど、よろしくお願いいたします。

研修委員会

研修委員会では、「サロン・デ・ソーシャルワーク」と銘打ち自主勉強会を令和2年度に計5回オンライン開催しました。コロナ禍での自己研鑽の場の確保とともに研修委員がオンライン環境に慣れる機会になりました。今年度6月からは「基礎研修」をWebプロジェクトチームと協力しオンラインで絶賛開催中です。ただ、人員不足です。基礎研修修了生の皆様、ファシリテーターなどのご協力よろしくお願い致します！

子ども家庭支援委員会

5月、6月度の研修会活動はZoomを用いて行ってきました。各研修とも20名を超える参加で、また人吉や天草からの参加もあり、オンライン研修の可能性を感じています。

今後は研修会後のコミュニケーションをオンライン研修後にできないか計画しております。多くの方とつながっていきたいと思います。

広報委員会

広報委員会では、これまで事務局を借りて毎月1回の定例会及び発行月に編集会議2回程度で、広報紙CSWのレイアウトや原稿依頼や編集について話し合いながら作業を行ってきました。現在は、Zoomを用いてのオンライン会議のみで直接集まる機会はなくなりました。しかし、Zoomの画面の共有を活用することで編集作業を同時に委員が見ることができる等のメリットも感じています。今後、LINE WORKSの活用に向けて試行中です。

ハンセン病問題・相談支援センター りんどう

ハンセン病回復者及びその家族の方々への相談支援に加え、今年度も人権教育に関する講演の相談をいただいています。

6月には「ハンセン病とその歴史を生きた人々」と題し、県内の中学生を対象とした人権講話をリモートにて開催しました。

その講話では、県内のハンセン病患者を取り巻く歴史のほか、具体的にどのような偏見・差別があったのかにも触れ、社会と自分の心の中の偏見・差別を気付くことの大切さを伝えました。

会員サービス委員会

会員サービス委員会では、会員の皆様のネットワークの構築をメインに活動を行っている為、昨年度は殆ど活動が行えませんでした。今年度は、7/31（土）に新規合格者の集いを対面とオンラインによるハイブリット研修で予定しております。また、各ブロックとのコラボ企画も検討している為、コラボしていただけるブロックがありましたら、ご連絡下さい。

地域包括委員会

委員数は15名で、地域包括支援センターに勤務する社会福祉士にて構成されています。主な活動は、包括に勤務する社会福祉士向け研修の「包括ネット」開催企画、熊本県と虐待対応委員会と共同開催の「高齢者虐待対応現任者標準研修」、成年後見委員と虐待対応委員会と共同開催「3委員会合同開催の合同研修」の3つの事業を行っております。



虐待対応委員会

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、本委員会も集合により行っていた運営委員会や委員会研修を、Zoomを活用し開催するようになりました。また、県や市町村向けの研修もZoomをはじめとするビデオチャットシステムを活用して、これまでと変わらない活動を行っています。本委員会は市町村における高齢者・障害者の権利擁護を支援する活動のため、委員会活動の質の担保やニーズに合わせた対応ができるよう今後も仕組みを整えたいと考えています。

第三者評価委員会

第三者評価委員会は、熊本県における福祉サービス第三者評価機関として認証を受けており、各分野の評価基準に基づき、社会福祉事業者が提供する福祉サービスの質を公正・中立な立場で専門的かつ客観的な立場から評価する活動を行っています。

社会福祉士としての知識や専門性を活かし、適切で質の高い評価を行うために、定例会議や研修会等を定期的実施し、評価調査者としての更なるスキルアップを目指しています。

受験対策委員会

今年度は、本委員会として初めての試みであるハイブリッド型（対面+Web）での開催可能性を、Webチームと共に検討してもらい、例年通りの時期に講座と模試を開催するべく、準備を進めています。月1回の委員会はZoomで、日常的な情報共有や意見交換はLINE WORKSで行っています。

この広報の記事を見て新たに2名の方が委員になってくださいました。優しい委員長のもと活動しております。興味のある方はぜひご参加ください。

成年後見委員会

今年度も会員必須研修（7/17 土曜 Zoomによるオンライン研修）を開催しました。「後見事務の視点からの相続について」「意思決定支援等に係る各種ガイドラインについて」をテーマに実践的な学びを深めるべく、運営委員を中心に企画をしました。

また、昨年度開催できなかった「ばあとなあ全員面接」についても、今年は8月に各ブロックでの対面面接を基本とし、Zoomでも対応できるよう状況に応じて選択できるように計画しています。

情報管理委員会

—昨年度末より、7名で活動を開始しており、県士会の情報資産の保全及び取扱いについて、対応方法やルール作りに関して検討を行っています。当初は、集まって会議を行っていましたが、昨年からは、Zoomを使用してオンラインでの会議とメールやGoogleドライブなどを活用して活動を行っています。

『実習指導者の話を聴く会』に参加して

会員サービス委員会 委員長 久保田 亨治

会員サービス委員会では7月に新規合格者の集い（オリエンテーション）を企画する等、入会促進についての取り組みを行っていますが、社会福祉士に合格してもオリエンテーションまで参加されない方が多い状況が近年は続いており、また、養成校出身者の入会についても減少傾向にあります。

会の活性化を図るためにも、若い世代の入会率のアップは必要不可欠であるため、今年度、会員サービス委員会では、各大学等と連携を行い、若い世代に社会福祉士の魅力や熊本県社会福祉士の活動をアピールできる場を企画できないかと摸索している所です。

そのような中で、今回、4/23

に熊本学園大学で開催されました『実習指導者の話を聴く会』で、学生の皆さんにお話をする機会をいただきました。

昨年度から続く、コロナウイルス感染拡大に伴ない、実習の受入れ機関の減少、実習期間の短縮等、大学側も大変ご苦労されており、学生の学びの場の減少が危惧されております。『実習指導者の話を聴く会』では、学生の皆様の実習に対する不安な思いを少しでも緩和できればと思い、レジデンシャルソーシャルワーク実習における実習内容、留意点、心構え、コロナウイルス感染対策等について説明を行いました。

学生からも多くの質問があがり、このような積極性のある学

生に将来社会福祉士会に入会していただければ、会の活動も活発になると強く感じた所です。

また、今回は実習についての説明がメインでありましたが、最後に熊本県社会福祉士の活動についても、お時間を頂き紹介を行ないました。会の研修や活動へ参加する事でスキルアップに繋がり、ネットワークが構築されます。私自身、業務を行う上で社会福祉士のネットワークに助けられたことが多々あります。相談業務は一人では行なえません。学生の皆様にもこの事をお伝えし、社会福祉士会に入会し、悩みを相談できる仲間を持つことの大切さを、機会がある毎に今後も伝えていきたいと思っております。

生涯研修制度について

研修委員会 委員長 綾香 繁子

（一社）熊本県社会福祉士会の会員の皆様には、日ごろから大変お世話になっております。さて、生涯研修制度についてというお題ですが、二つの事柄から研修の必要性についてお伝えしたいと思います。

まず、平成30（2018）年3月に厚生労働省社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会がまとめた「ソーシャルワーク専門職である社会福祉士に求められる役割等について」という報告書があります。皆様も一度は読んだことがあると思いますが、この中にはこれからの社会福祉士が進む道が示されています。

例えば、現任者の学びなおしとして「なお、社会状況の変化やニーズの多様化・複雑化に伴い、社会福祉士の活躍の分野は広がってきており、実践力を向上させていくためには、資格取

得後の不断の自己研鑽が必要である。一方で、社会福祉士は、同一の職場に配置される人数が少ないため、OJTが難しいという実態もある。この点も含めて、職能団体が中心となって取り組んでいる認定社会福祉士制度を活用することが考えられる」と記述しています。時代に即応したソーシャルワーク実践には、不断の努力も必要ということでしょう。ちなみに、この報告書は、厚生労働省のホームページからダウンロードできます。

また、2014年に「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」が国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）総会及び国際ソーシャルワーク学校連盟（IASSW）総会において採択されました。これを受けて、新しい「社会福祉士の倫理綱領」が2020年6月30日に採択され、その倫理綱領を行動レベルで具現化する

「社会福祉士の行動規範」が2021年3月20日に採択されました。この倫理綱領では、「IV 専門職としての倫理責任」として、「1.（専門性の向上）社会福祉士は、最良の実践を行うために、必要な資格を所持し、専門性の向上に努める」という記述があります。行動規範では、専門性の向上について「1-1 社会福祉士は、研修・情報交換・自主勉強会などの機会を活かして、常に自己研鑽に努めなければならない」としています。ここでも不断の努力が記載されています。

日本社会福祉士会では、生涯研修制度を通して現任社会福祉士の自己研鑽をサポートする体制を整えています。詳細は「生涯研修手帳」をお読みいただきたいのですが、その自己研鑽の第一歩として「基礎研修」をご利用いただければ幸いです。

令和3年度（2021年度）受験対策講座及び模擬試験について

受験対策員委員会 理事 岡村 ゆかり

例年、8～10月の日曜日に、介護支援専門員及び社会福祉士の受験対策講座と模擬試験を実施しております。今年度の開催日程につきましては、表をご参照ください。

介護支援専門員の講座に関しては、対面での実施を予定しております。社会福祉士の講座につきましては、今年度は、コロナ禍での開催方法を模索し、人数制限をした対面式に加え、Web配信による受講の仕組みを取り入れ、ハイブリッド型での開催を予定しています。

講座は科目ごとに、福祉・医療現場における専門職の方々や、大学教員の方々を講師としてお迎えし、実施いたします。会場は、いずれも熊本学園大学（熊本市中央区大江）です。

昨年度はコロナの影響で開催できておりませんが、例年、受講者の方々の合格率は、全国平均を上回っています。介護支援専門員の場合、2018（平成30）年度から受験資格の見直しがなされており、それまで13～14万人程度の受験者がいましたが、2018（平成30）年度以降は4～5万人の受験者となっています。全国の合格率は、第22回（令和元年度）19.5%、第21回（平成30年度）10.1%、第20回（平成29年度）21.5%となっています。

表 受験対策講座と模試の日程

介護支援専門員	
8月29日（日）	受験対策講座
9月 5日（日）	模擬試験と解説
社会福祉士	
9月 5日（日）	受験対策講座（1日目）
12日（日）	受験対策講座（2日目）
26日（日）	受験対策講座（3日目）
10月3日（日）	受験対策講座（4日目）
10日（日）	受験対策講座（5日目）
17日（日）	模擬試験

令和3年度（2021年度）介護支援専門員実務研修受講試験の概要

- 試験期日 令和3年（2021年）10月10日（日） 午前10時開始
- 受験申込の受付期間 令和3年（2021年）6月1日（火）～令和3年（2021年）6月30日（水）
- 受験対象者 保健・医療・福祉の所定の分野で通算5年以上の期間、かつ日数が900日以上の実務経験を有する方

社会福祉士につきましては、近年、合格点が高い傾向が見られます。近年の合格点（150点満点）と合格率は次の通りです。第33回：93点（29.3%）、第32回：88点（29.3%）、第31回：89点（29.9%）、第30回：99点（30.2%）。これまで、「90点獲得していれば合格する」と言われていましたが、最近の傾向では100点獲得を目指すような学習方法が必要となってきています。会員の皆様の周囲で社会福祉士を目指している方に、ぜひ本会の対策講座や模擬試験をおすすめください。

◆申し込みの詳細は、熊本県社会福祉士会ホームページをご覧ください。

◆申し込みはこちらから

（介護支援専門員受験対策講座）

<https://forms.gle/zDZbR4MB5HALn8R68>

（介護支援専門員模擬試験）

<https://forms.gle/rGgoPMYNFAjEmya96>

（社会福祉士受験対策講座）

<https://forms.gle/9WiHrb9kGKAuYA9N6>

（社会福祉士模擬試験）

<https://forms.gle/L7oYbM4gDanPe1T47>

介護支援専門員受験対策講座



介護支援専門員模擬試験



社会福祉士受験対策講座



社会福祉士模擬試験



Information

◆2021年度 災害支援活動者養成研修

開催日時：2021年11月27日（土）13：00～17：40
開催方法：オンライン形式（Zoom）

※令和2年7月豪雨での支援を元に発災後から求められる支援のあり方について考える研修内容となっています。受援当事者である球磨村役場からのご登壇いただきます。ぜひ、ご参加いただき、災害支援活動者として一緒に活動してみませんか？詳細は、後日、熊本県社会福祉士会HPに掲載いたします。

◆2021年度 第11回九州・沖縄ブロック社会福祉士研修会（大分大会）のお知らせ

今年度は下記の通りWeb開催されます。

開催日時：2021年10月16日（土）9：30～17：00
開催方法：オンライン形式（Zoom）

プログラムの一つとして、会員の実践力向上を目的とした実践報告会が行われます。会員の皆様の日頃の実践をまとめて報告する場として活用していただきたく実践報告を募集いたします。

実践報告募集

キーワード：「コロナ禍」「コミュニティデザイン」「SDGs」「意思決定支援」「貧困」「つながり」「自殺」

締切日：7月23日 ※既に締切らせていただいています

詳細は、今後発表される予定です。熊本県社会福祉士会HP等でご確認ください。

<http://kumacsw.com/>

熊本県社会福祉士会

検索

つ ぶ や き

熊本県では、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念が続いています。福祉の現場で働かれている方は、心のリフレッシュに悩まれている方は多いのではないかと思います。コロナが流行る前と流行ってからの私の趣味、楽しみは、激減しました。その中でもちょっとした幸せを伝えられたらと思います。

流行る前は、中学校や高校の時の同期との飲み会を定期的に開き、県外から帰省してきた友達とも年に数回は、食事会を開いていまし

た。また、地域でのボランティアも月に数回参加しており、活動的でした。

流行りだしてからは、友達との飲み会は不定期ですが、オンライン（LINEのグループ通話）で行うようになりました。同じテーブルで同じ料理を一緒に食べることはできなくなりましたが、家でゆっくり、好きな時間に飲んだり食べたりできることはメリットです。また、会えなくてもつながっているということで、安心感がありま

す。地域のボランティアには、感染者数が少し落ち着いていた頃に数日活動しました。その時に作ったお皿の作品です。

可愛いでしょ？今後、感染状況、感染対策に注意しながら、我慢するときは我慢して、リフレッシュできる時はしていきたいと思っています。



広報委員会 古川